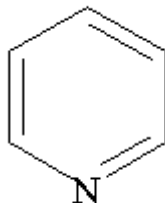


ピリジン

物質名	化学式 構造式	物理化学的性状	生産量等 用途	重視すべき有害性 ①発がん性	重視すべき有害性 ②発がん性以外
〈名称、別名、CASNo.〉 名 称：ピリジン 別 名：アザベンゼン CAS 番号：110-86-1	〈化学式〉 化 学 式：C ₅ H ₅ N 構造式 	〈外観、沸点、融点、蒸気圧〉 外観：特徴的な臭気のある、無色の液体 沸 点：115℃ 融 点：-42 ℃ 蒸気圧：2.0 kPa（20℃） 比重：0.98（水＝1） 蒸気密度（空気＝1）: 2.73	〈生産量、輸入量、用途〉 製造・輸入量：4,000t（2012） 用 途：医薬品（スルホンアミド剤、抗ヒスタミン剤）無水金属塩の溶剤及び反応媒介剤、医薬品原料、界面活性剤、加硫促進剤、鎮静剤、アルコールの変性	○ 発がん性：判断できない 根拠：IARC は、英国での男性労働者のコホート調査をデータが不十分と指摘しており、雌雄のB6C3F1マウス、雄のF344ラット、雄のWistarラットでの発がん試験の所見についても limited evidence と判断している。また、ACGIH でも A3（確認された動物発がん性物質ではあるが、ヒトとの関連性は不明である）に分類している。 	